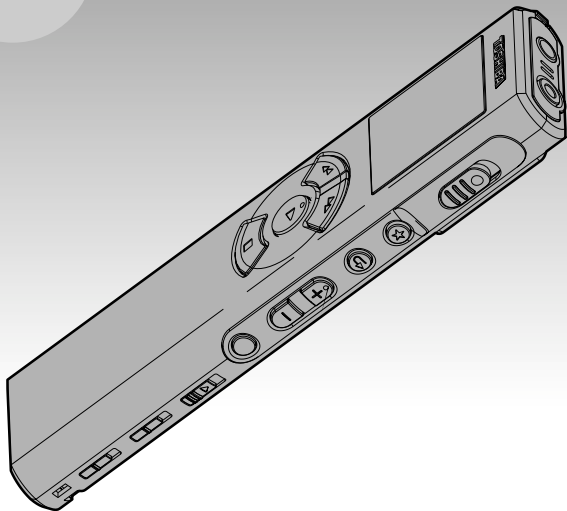
TOSHIBA

東芝メモリーレコーダ取扱説明書

DMR-3500R/1800R/900R

保証書付

保証書はこの取扱説明書と一体になっておりますので記入をお受けください。

- このたびは東芝メモリーレコーダをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- お求めのメモリーレコーダを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
- お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。
- この取扱説明書はDMR-3500R、DMR-1800R、DMR-900Rの共用です。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には､お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ､安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]

表　示	表 示 の 意 味
⚠警告	"誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷※1を負う可能性のあること"を示します。
⚠注意	"誤った取扱いをすると人が傷害※2を負う可能性、または物的損害※3のみが発生する可能性のあること"を示します。

※1:　重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2:　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3:　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

⚠警告

分解禁止

お客様ご自身で修理・改造・分解はしないでください。

発熱・発火の原因となります。

指　示

煙が出ている、変なにおいがするなど、異常の場合はすぐに本体から電池を取り出してください。

そのまま使用すると、発熱・発火の原因となります。

禁　止

ペースメーカーなど体内に機器を装着されている方また、航空機など電子機器の使用が制限されている場所でのご使用はおやめください。

禁　止

本体の中に水や異物を入れないでください。

発熱・発火の原因となります。

⚠注意

禁　止

本体をふりまわさないでください。

けが・事故の原因となります。

禁　止

本体を口に入れる、なめる、かじる等はしないでください。

けが・事故の原因となります。特にお子様にはご注意ください。

禁　止

運転中・歩行中に操作しないでください。

事故の原因となります。

受信障害について

本機をラジオ、テレビ、携帯電話、その他デジタル機器などに近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。その場合は、本機を離してご使用ください。

もくじ

電池に関する安全上のご注意

● ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱・破裂の原因となります。

● 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣服に付着した場合は、きれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと、液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

● 同梱の電池は充電することができません。充電すると液もれや破裂のおそれがあります。

●長時間ご使用にならないときは、電池を本体から抜いてください。

● 充電式電池をご使用になる場合は、電池及び充電器の説明書をよくお読みになり、正しい取扱いをしてください。

● ＋、－を正しく入れてください。

● 新しい電池と使用した電池、他の種類の電池をまぜて使わないでください。

● 使い切った電池は、本体から取り出してください。

免責事項について

● 地震、雷、火災、第三者の行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 本商品の使用または使用不能から生じる付随的な障害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

● 万一、本機使用により生じた損害、逸脱利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

● 故障、修理その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸脱利益につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願い

● 本体に強い衝撃を与えないでください。録音中の内容が記録されないばかりでなく、記録済みの内容が破壊される原因となります。

● 電池の消耗により、録音データが消えることはありませんが、万一のために大切なデータは、バックアップをお勧めします。

● 携帯電話やPHSの近くで録音するとノイズが入ることがあります。その時は、本機を離してご使用ください。

使用上のお願い

● 本機の表示部に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。また、表示部の特性上、力を加えると表示が異常となります。
● 本機を水がかかる所、湿気やホコリの多い場所、油煙や湯気の当たる所、暖房器具のそばや直射日光の当たる場所に置かないでください。
● 本機を窓の締め切った自動車内に放置しないでください。車内が高温になることがあり、変形・変色・故障や火災の原因となったりすることがあります。
● 殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネットのよごれは柔らかい布で軽くふき取ってください。

● よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に布をひたし、よく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗料がはげるなどの原因となります。
● 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

録音環境（推奨条件）

● 本製品は、7～8人程度までが収容できる小会議室での会議録音、または個人による口述録音を行うのに適しています。
● これ以外の環境条件でご使用の場合には、目的に適した外部マイク(マイク自体の仕様は、外部マイクのメーカーにお問い合わせください)をお使いになるか、事前に録音試験を行うなどで動作確認されることをお勧めします。

ノイズについて

● 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
● 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。
● 録音モニター中に音量を上げすぎたり、イヤホーンをマイクに近づけすぎたりすると、イヤホーンの音をマイクが拾い、ピーッという音(ハウリング)が生じることがあります。

著作権について

● あなたが、録音またはデジタルカメラユニットで記録したものは、個人として楽しむことなどを除いては、 著作権法上、権利者に無断で使用、開示、頒布または展示などをすることはできません。
なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、録音や撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている音声、画像やファイルが記録されたデータの伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

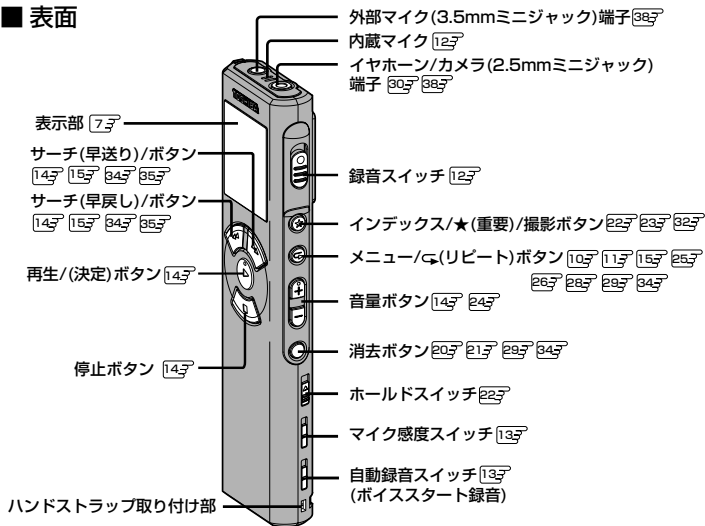
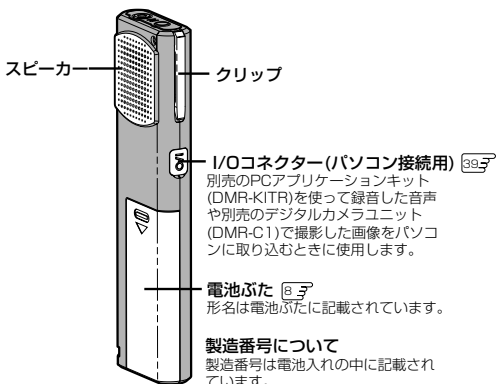
ラジオ、テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ)の基準に基づくクラスB情報装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

各部のなまえ

くわしくは、なまえの☞内のページをご覧ください。

■ 表示部

録音件数/メニュー表示
カメラ表示
アラーム表示
録音モード
日付/インデックス/モード表示
ボイスタイトル表示
カウンター/時刻表示
再生表示
録音表示
ホールド表示
電池マーク
重要マーク
消去表示
リピート表示
フォルダ表示
UHQ SP
A B C

録音件数/メニュー表示

録音件数 12☞
録音するたび、録音件数が1つずつ増加し、A,B,C各フォルダに最大199件まで録音できます。

メニュー表示
停止中(停止ボタンを押したとき)、メニューボタンを押すと、メニュー表示になります。ボタンを押すごとに下記のように変わります。

UHQ/HQ/SP(録音モード)11☞→**FOL**(フォルダ)11☞→**ALI**(アラーム1)→**AL2**(アラーム2)25☞→**PR**(タイマー予約)26☞→**CL**(時刻)10☞→**bE**(ビープ音)28☞→**Vt**(ボイスタイトル)16☞→**📷**(画像消去)34☞ →**Fo**(フォーマット)29☞→録音件数

カメラ表示 📷 32☞

デジタルカメラユニット(DMR-C1)を接続すると表示されます。撮影時点滅します。

アラーム表示 ((•)) 25☞

メニューでALIまたはAL2をonにすると表示します。

録音モード 11☞

UHQモード、HQモード、SPモードが選べます。

日付/インデックス/モード表示

10☞ 23☞ 25☞ 32☞
日付、Ind、on/oFFモード、残量枚数を表示します。

ボイスタイトル表示 17☞ 18☞ 19☞

録音件数にタイトル録音が入っているとき表示します。

カウンター/時刻表示 10☞ 12☞ 14☞

カウンターまたは時刻を表示します。

再生表示 ▶ 14☞

再生のとき表示します。

録音表示 ● 12☞

録音のとき表示します。

ホールド表示 22☞

ホールドスイッチを入れると、表示します。

電池マーク 9☞

電池の残量を表示します。

重要マーク ★ 22☞

重要ボタンを押すとその録音件数に★マークが付きます。

消去表示 20☞ 21☞ 29☞ 34☞

消去ボタンを押すと点滅します。

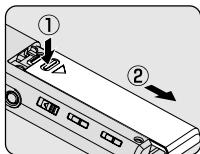
リピート表示 15☞

再生中、/メニューボタンを押すと表示します。

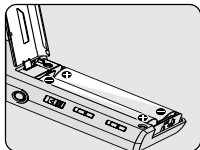
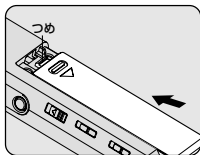
フォルダ表示 11☞

録音するA,B,Cフォルダを選びます。

電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらす

① 押しながら
② 手前に引く

2 電池ぶたを上げ、電池を入れる

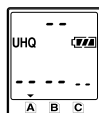
● 電池の+、−を確かめて正しく入れてください。

3 電池ぶたを閉める

奥に押す

● パチッと止る所まで押します。
● 電池ぶた紛失防止用リボンが付いています。巻き込まないように閉めてください。

お願い

電池を入れたら表示部の点灯を確認してください。

電源切り時

電源入り時

停止ボタンを押すと、電源が入ります。もう一度押すと、電源が切れます。

表示部が点灯しない場合は、速やかに電池を取り出し、正しく入れ直してください。それでも表示部が点灯しない場合は電池を取り出し点検・修理を依頼してください。表示部が点灯しないまま電池を入れておくと発熱・発火のおそれがあります。

電池交換について

■ 電池マークについて

電池の消耗状態により録音できなくなるまでの時間が短い場合があります。
おおよその目安としてお使いください。
電池の残量の変化に合わせて、次のように変わります。

電池の残量	多い	→	少ない	交換	交換
マークの点灯	(満)	→ (2/3) →	(1/3) →	(空) →	(空・点滅)

■ 電池交換時の注意点

●「電池マーク」（⊏⊐）が点灯したら、次の操作をしてから必ず２本とも新しい電池と交換してください。

- **停止ボタンを押して、電源を切ってください。**

お知らせ

- 電池交換について

  電池を抜いても時計などの設定は約3分間持続します。3分以上すぎると、時計の設定は消えます。

- **録音時、電池マークは点滅していないのに、再生にすると点滅（⊏⊐）する事があります。**

  これは録音時と再生時の消費電力の違いによるものです。
  電池が消耗しているので新しい電池と交換してください。

- **録音中に電池が消耗すると自動的に電源が切れます。ただし、それまで録音した内容は保存されます。**
- **電源「切」時、電池マークの点滅（⊏⊐）が表示されたときは電池が消耗しています。このときは、操作ボタンは動作しません。新しい電池と入れ換えてください。**
- **低温時は乾電池の性能が低下し、常温時より電池寿命が短くなります。**

時刻を合わせる(24時間表示)

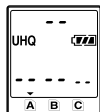
アラーム機能を使用したり、録音した日付を記録するためには、本機の時刻合わせをしておく必要があります。この時計は、24時間表示です。

メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→(ALI→AL2→PR)→**CL(時刻設定)**→bE→Vt→■→Foの順に変わります。
例えば、2003年2月10日の10時30分に合わせる

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

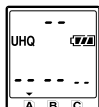
2 メニューボタンで「CL」に合わせ再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「年(Y)」を合わせ再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「月(M)」を合わせ再生ボタンを押す

5 サーチボタンで「日(D)」を合わせ再生ボタンを押す

6 サーチボタンで「時」を合わせ再生ボタンを押す

7 サーチボタンで「分」を合わせ時報などと同時に再生ボタンを押す

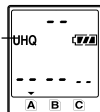
8 停止ボタンを押す

- もう一度、停止ボタンを押すと電源が切れ、日付と時刻が表示されます。

お知らせ

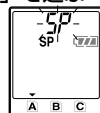
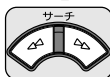
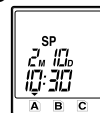
- 時刻を合わせないで録音すると、録音した日付と時刻が“1_M01_D / 0_H00_M”で表示されます。
- 時刻を合わせていないとアラーム設定(ALI、AL2)、タイマー予約(PR)の表示が出ません。

録音モードの設定

出荷時は、UHQモードに設定されています。
録音を始める前に、録音モードを合わせておきます。
メニューボタンを押すごとに、**UHQ/HQ/SP**(録音モード設定)→FOL→ALI→AL2→PR→CL→bE→Vt→📷→Foの順に変わります。

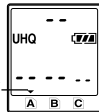
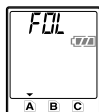
1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「UHQ」、「HQ」または「SP」に合わせる

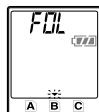
3 再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「UHQ」、「HQ」または「SP」を選ぶ

5 停止ボタン2回を押す

- UHQ、HQモードに戻すには、操作手順4でUHQまたはHQにします。

フォルダの設定

本機には、A、B、Cの3つのフォルダがあります。フォルダごとに録音内容を整理できます。録音を始める前にフォルダを選んでください。
メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→**FOL**(フォルダ設定)→ALI→AL2→PR→CL→bE→Vt→📷→Foの順に変わります。

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「FOL」に合わせる

3 再生ボタンを押す

4 サーチボタンでフォルダを選ぶ

5 停止ボタンを2回押す

- 最初のフォルダに戻すには、操作手順4で最初のフォルダにします。

録音のしかた

A、B、Cの3つのフォルダにそれぞれ199件までの用件を録音できます。
録音ボタンを押すと、自動的に一番最後の部分に録音が追加されるので、テープのように録音されていない部分を探す必要がなく、すぐに録音が始められます。

1 録音したい、録音モードとフォルダを選ぶ

● 電源を入れ、メニューで設定します。(設定方法は、11ページ参照)

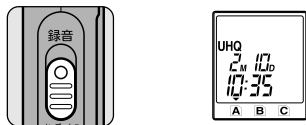
2 録音を始める

録音スイッチを上げる

● 録音が始まるまで2〜3秒かかります。
● カウンター表示にFULLが表示されたときは録音できません。
● カウンター表示は、目安としてお使いください。

お願い：録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されますのでご注意ください。
録音中に電池が外れる(落下などで)と録音中の内容が消えてしまいますのでご注意ください。

録音を止める

録音スイッチを下げる

● 録音を停止し、電源が切れます。
● ボイスタイトル(16ページ参照)がonのときは、⌕が10秒間点滅してから、電源が切れます。
● 停止ボタンでは、録音を停止できません。

録音スイッチを上げるたびに録音件数は1件ずつ増加します。

● 録音件数はA、B、Cフォルダに1フォルダ当たり最大199件まで録音ができます。
● 録音回数、録音時間によっては、合計の録音時間は、最長時間よりも短くなることがあります。

■ 今録音したばかりの内容を聞くには

● 録音を終えた後、再生ボタンを押すと、今録音した内容の始めから聞くことができます。

■ 自動録音機能(ボイススタート録音)

● 自動録音機能を使うと、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります、そのため無音録音がなくなり、効率のよい録音をすることができます。(録音スイッチが「入」になっていないと働きません)

入：録音を始めると、音が小さいときには、自動的に録音を一時停止にします。
一時停止のとき、録音表示とPAUSEが点滅します。

切：自動録音が解除されます。

お願い

自動録音機能は周囲の環境（雑音やざわめき声など）に左右されますので事前に動作をご確認ください。また、録音環境に合わせてマイク感度を切り換えてください。大切な録音をするときは、自動録音を「切」の状態にしてお使いください。

■ マイク感度の切換

● マイク感度スイッチで録音の感度を変えることができます。

マイク感度
会議　口述

会議：会議などの会話を取り込み易いようなやや高めの感度です。通常録音状態。

口述：至近距離の目的音が取り込み易い低めの感度です。

■ 録音モニター

● 録音中イヤホーンをイヤホーン端子に差し込んでおくと、録音中の音声を聞くことができます。モニター音は音量ボタンで調整できます。(録音レベルは変わりません)

録音中は、イヤホーンをマイクに近づけないようにしてください。

■ 残量時間を表示させるには

● 録音中に再生ボタンを押している間、現在の録音モードの残量時間が表示されます。

残量時間

● 録音件数の表示が“RE”(REMAIN)になります。
● 録音中のため、残量時間は減っていきます。
● 残量時間表示は、おおよその目安で、そのとき設定されているモードで録音可能な時間です。
● ビープ音の設定がonのときでも操作音は出ません。

お知らせ

● 録音中にメモリーがいっぱいになるとカウンター表示に“FULL”を表示し点滅します。また、録音件数が“199”表示のとき録音ボタンを入れるとカウンター表示に“FULL”を表示しそれぞれ点滅します。“199”が表示されたときは、メモリーが残っていても録音できません。この状態のまま約3分経過すると自動的に電源が切れます。新しく録音するには、録音内容を消去(20ページ)してから録音してください。

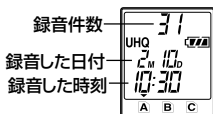
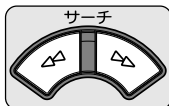
● 録音・消去を何回も繰り返し行うと、録音しようとしたとき、“FIL”と“FULL”表示が点滅することがあります。このときは、「全内容を一度に消去する」(21ページ)または、「フォーマット」(29ページ)の操作を行ってください。

再生のしかた

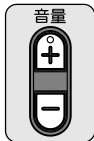
あらかじめ録音してある内容を選んで聞くときは、手順1から操作してください。
今録音したばかりの内容を聞くには、手順3から行ってください。

1 停止ボタンを押し、電源を入れ、メニューボタンを押し、聞きたい音声のフォルダを選ぶ

- フォルダの選び方は11ページ参照

2 サーチボタン(ダウン)(アップ)を押し、再生したい録音内容を選ぶ

録音件数
録音した日付
録音した時刻

- 最後に録音、または再生した録音件数が表示されます。
- 録音件数が“−−”点灯したときは、録音内容がない場合です。
- サーチボタンを押す度に録音件数は1つずつ変ります。インデックスが付けられているときは、インデックスのところで止まります。
- サーチボタンを押し続けると録音件数は連続で変ります。

3 再生ボタンを押す
再生が始まる

再生表示
カウンター表示
(時・分・秒)

- 音量ボタンで音量を調整します。
  停止中や再生中に音量ボタンを押すと、VOLと数字が表示されます。
  可変範囲:0〜20
- 電源が切れている状態で再生ボタンを押したときは、最後に録音した録音件数の再生を始めます。ただし、再生中に停止したときや電源を切ったときは、その場所から再生が始まります。

4 止めるには、停止ボタンを押す、もう一度押すと電源が切れ日付と時刻表示になる

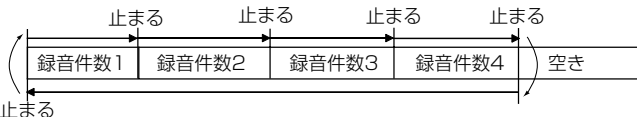
- 最後の内容の再生が終わると、そこで停止します。
- 停止状態のまま約3分経過すると自動的に電源が切れます。

■ 再生中の早戻し早送り

再生中に早戻しや早送りで聞きたい音を早く選ぶことができます。

再生中に サーチボタン(ダウン) (アップ)を押す

- 一度押すと数秒進み、連続押しで早戻しまたは早送りとなります。
- 録音件数と経過時間は減少または増加します。
- 再生表示が点滅します。

- 停止中にサーチボタンを押すと、各録音内容の最初の位置で止まります。

■ リピート再生

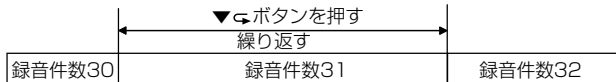
同じ内容を繰り返し聞くことができます。

再生中に メニュー/ボタンを押す

- が表示され、録音件数の区間で繰り返し再生されます。
- インデックス付きでのリピート再生はインデックス間で繰り返し再生されます。
- もう一度、メニュー/ボタンを押すか、停止ボタンまたはサーチボタンを押すと解除されます。

▼ボタンを押す

繰り返す

録音件数30	録音件数31	録音件数32

■ 残量時間を表示させるには

再生中に再生ボタンを押している間、残量時間が表示されます。

残量表示

- 表示部に録音可能な残量時間を表示します。
- 録音件数の表示が " RE " (REMAIN)になります。
- 残量時間表示は、おおよその目安で、そのとき設定されているモードで録音可能な時間です。

■ イヤホーンで聞くには

付属のイヤホーンをイヤホーン端子に差し込んでください。スピーカーからの音は出なくなります。

ボイスタイトルの録音・再生のしかた

録音した内容にタイトルを7秒間録音することができます。録音済みの録音件数にもタイトルを録音することができます。(出荷時は、onに設定されています)
再生時に、タイトル録音の内容だけを聞くことができます。

■ ボイスタイトルをoFFにするには

メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→ALI→AL2→PR→CL→bE→**Vt**(ボイスタイトル設定)→📷→Foの順に変わります。

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「Vt」を選び、再生ボタンを押す

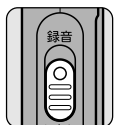
3 サーチボタンで「oFF」にし再生ボタンを押す

4 停止ボタンを押す

■ ボイスタイトルの録音

1 録音を始める

- 通常の録音を行います。
- この時点では、まだボイスタイトルの録音は行われません。

2 録音を止める

- ボイスタイトル録音待機モードになり が10秒間点滅します。
- 待機モードが10秒すぎると、電源が切れます。
- 途中で、待機モードを解除するには停止ボタンを押します。
- 途中で、再生ボタンを押すと、再生になります。

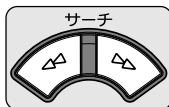
3 10秒以内にインデックス/(撮影)ボタンを押す

- ボイスタイトル録音が開始されます。
- 7秒間タイトル録音ができます。
- 7秒すぎると録音を停止し、電源が切れます。
- 途中では、録音を停止できません。
- 新しく、録音を始めると、タイトル録音は解除されます。

ボイスタイトルの録音・再生のしかた

■ 録音されているデータにボイスタイトルを録音する

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 サーチボタン⏮または⏭を押し、タイトルを入れたい録音件数を選ぶ

3 停止ボタンとメニューボタンを1秒以上押す

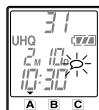
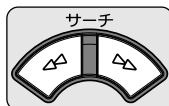
● ボイスタイトル録音待機モードになり 💬 が10秒間点滅します。

4 10秒以内にインデックス/(撮影)ボタンを押す

● ボイスタイトル録音が開始されます。
● 7秒間タイトル録音ができます。
● 7秒すぎると録音を停止し、電源が切れます。
● ボイスタイトルが録音されている、録音件数では、新しいタイトルが上書き録音されます。
● 途中では、録音を停止できません。

■ ボイスタイトルの再生

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 サーチボタン⊿または⊿を押し、タイトルを入れた録音件数を選ぶ

● ○ が2秒間点滅します。

3 2秒以内に再生ボタンを押す

● タイトル再生が開始されます。
● 7秒すぎると再生を停止します。
● 途中で他のボタンを押すと、タイトル再生を停止します。

録音した内容を消去するには

録音した内容を1つずつ、または1つのフォルダ内の全内容を一度に消去することができます。一度消去した内容は元に戻すことができませんので、ご注意ください。

■ 録音した内容を1つずつ消去する

消したい録音件数の内容だけを消去することができます。
重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。
内容を消すと、次の内容が自動的に繰り上がるので、間に空白部分はできません。

消去前	録音件数1	録音件数2	録音件数3	録音件数4	録音件数5	空き
↓	録音件数3を消去する					
消去後	録音件数1	録音件数2	録音件数3	録音件数4	空き	

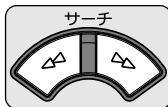
録音内容の番号が繰り上がる

---

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

●消去したい録音データがあるフォルダを選んでください。(フォルダの変更は11ページ参照)

---

2 サーチボタン◁◁または▷▷を押し、消去したい録音件数を選ぶ

● 消去する内容を、再生して確認してください。
● 重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。消去するときは、重要マークを解除してから消去してください。(22ページ参照)

---

3 消去ボタンを1秒以上押す

消去表示

● “🗑”が点滅し消去を開始します。
● 消去が終わると“🗑”が消灯します。
● 録音されている時間によって、“🗑”の点滅時間は異なります。

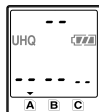
● 内容が消去され、以降の録音件数が繰り上がります。
● 録音が1つだけのとき、録音件数とカウンター表示がバーになります。

■ フォルダー毎の全内容を一度に消去する

録音したすべての内容を一度に消去することができます。
重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。

1 **停止ボタンを押し、電源を入れる**

●消去するフォルダを選んでください。(フォルダの変更は11ページ参照)

2 **停止ボタンと消去ボタンを同時に1秒以上押し続ける**

- “ 🗑 ”が点滅し消去を開始します。
- 消去が終わると、録音件数とカウンター表示がバーになります。
- 重要マーク(★)の付いた録音内容は消去されません。消去するときは、重要マークを解除してから消去してください。(22ページ参照)

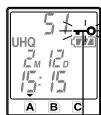
これで消去は完了しました。

その他の機能の使いかた

■ ホールド機能(誤動作防止機能)

不用意に再生などの動作に入らないための機能です。

ホールドスイッチを矢印の方向にする。

操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対方向にしてください。

ホールド表示

- ホールドスイッチが「入」のとき、操作ボタンを押すと“ ⊸ ”表示が約3秒間点滅し動作しません。
- 電源が切れている状態で　ホールドスイッチを「入」にして、停止ボタン、再生ボタンを押すと“ ⊸ ”表示が約3秒間点滅して、電源が切れます。
- 録音動作では、ホールド機能は動作しません。

■ 重要マーク機能

重要な録音内容にマーク(★)を付けておくと、マークの付いた録音内容を頭出しすることができます。また、マークを付けておくと誤って消したりすることがありません。

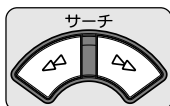
1. 重要マークを付けたい録音件数を選ぶ

2. 停止中に停止ボタンを押しながら、インデックス/(撮影)ボタンを1秒以上押します。

- 録音件数に重要マーク(★)が付きます。
- 重要マークを消すときは、停止中に停止ボタンを押しながら、インデックス/(撮影)ボタンを1秒以上押します。重要マーク(★)が消えます。

● 重要マークの頭出し

重要マークを付けた録音内容のみサーチすることができます。

停止中に、インデックス/(撮影)ボタンを押しながらサーチボタンを押します。

- 重要マーク(★)の付いた所で止まります。
- 再生ボタンを押すとその録音内容が聞けます。

停止

★録音件数3	録音件数4	★録音件数5	録音件数6

■ インデックス機能

録音中または再生中に、録音件数とは別に「インデックス」を付けることで、サーチボタンで録音内容の頭出しができます。インデックスを付けると、会議など長時間録音のときに、再生したい場所が素早く探せたり、インデックスの区間をリピート再生させることができます。

● 録音中にインデックスを付けるには

録音中に、頭出ししたいところでインデックスボタンを押す

- 押したところにインデックスが付けられ、" Ind "を約1秒表示します。　録音は途切れずに続けます。

● 再生中にインデックスを付けるには

再生中に、頭出ししたいところでインデックスボタンを押す

- 押したところにインデックスが付けられ、" Ind " を表示し停止します。

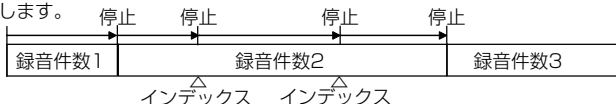
●インデックスを消すには

停止中に、サーチボタンで消したい " Ind " を探し、インデックス/(撮影)ボタンを1秒以上押します。

●インデックスを付けたところを探して聞くには

停止中に、サーチボタンを押し、聞きたいインデックスのところを探し再生ボタンを押します。

停止　停止　停止　停止

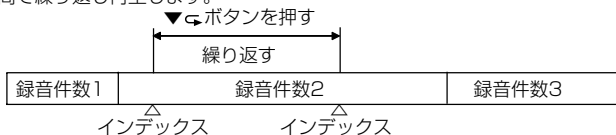
録音件数1	録音件数2	録音件数3

△インデックス　△インデックス

●インデックスを付けたところを繰り返し聞くには

インデックスを付けたところで 再生中に、メニュー/⊊ボタンを押すとインデックス区間で繰り返し再生します。

▼⊊ボタンを押す

繰り返す

録音件数1	録音件数2	録音件数3

△インデックス　△インデックス

- 再生中は、 " Ind " 表示は出ません。

お知らせ

インデックスを付けられるのは1つの録音件数に対し最大125カ所までです。

再生スピードを調整する

■ 早聞き再生

再生中に、再生ボタンを押しながら、音量ボタンの＋を押すと、早い速度で再生されます。

- 約1.2倍の早聞き再生になります。
- 再生を止めるには、停止ボタンを押します。

■ 遅聞き再生

再生中に、再生ボタンを押しながら、音量ボタンの－を押すと、遅い速度で再生されます。

- 約0.8倍の遅聞き再生になります。
- 再生を止めるには、停止ボタンを押します。

アラームの設定

アラーム設定(2つの時刻を登録できます)をしておくと、設定した時間にアラーム音が鳴り時刻を知らせます。時計が設定されていないときは、アラーム設定はできません。

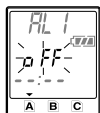
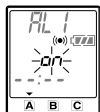
メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→**ALI**→**AL2**(アラーム設定)→PR→CL→bE→Vt→📷→Foの順に変わります。

例えば、ALIに15時30分を設定する

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「ALI」または「AL2」を選び、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「on」にし、再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「時」を合わせ、再生ボタンを押す

5 サーチボタンで「分」を合わせ、再生ボタンを押す

6 停止ボタンを押す

お知らせ

- 設定した時刻になると、電源が入り、“((•))”が点滅し、アラームが約30秒間鳴ります。ただし、録音中は鳴りません。
- 途中でアラームを止めるには操作ボタンを押すと止まります。ホールドスイッチが入っていても止められます。
- 一度動作すると、自動的にoFF設定になりますが設定時刻は保持されます。
- ALIとAL2を同時刻に設定したときは、ALIが動作後AL2もoFF設定になります。

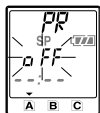
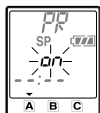
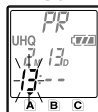
タイマー予約の設定

タイマー予約をしておくと、設定した時間に録音を始めます。時計が設定されていないときは、タイマー予約の設定はできません。

メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→ALI→AL2→**PR**(タイマー予約の設定)→CL→bE→Vt→📷→Foの順に変わります。

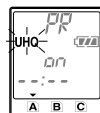
例えば、2月13日　13:00から1時間30分UHQモードで予約する場合

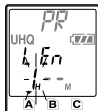
1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「PR」を選び、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「on」にし再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「録音モード」を選び、再生ボタンを押す

5 サーチボタンで「予約月」を合わせ再生ボタンを押す

6 サーチボタンで「予約日」を合わせ再生ボタンを押す

7 サーチボタンで「開始時」を合わせ再生ボタンを押す

8 サーチボタンで「開始分」を合わせ再生ボタンを押す

9 サーチボタンで「録音時間」を合わせ再生ボタンを押す

10 サーチボタンで「分」を合わせ再生ボタンを押す

11 停止ボタンを2回押し電源を切る

● 電源を切っても、“PR ”が点灯しタイマー予約が設定されていることをお知らせします。タイマー録音が終了すると消えます。

お知らせ

- 最大録音時間は、メモリー容量により自動的に計算されます。長く録音したい場合は不要なファイルを削除してください。
- 設定した時刻になると、電源が入り、録音が開始されます。
- 開始時間になっても、実際に録音が始まるまで2～3秒かかります。
- 途中で予約録音を止めるには停止ボタンを1秒以上押すと止まります。
- 一度動作すると、自動的にoFF設定になります。

ビープ音の設定

ビープとは再生、録音、停止などの操作ボタンを押したときの確認音です。

b E o n : 操作ボタンの受付時、確認音が鳴ります。(出荷時は、onに設定されています)

b E o F F : 操作ボタンの受付時、確認音は鳴りません。(アラームは鳴ります)

■ ビープ音を止めるには

メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→ALI→AL2→PR→CL→**bE**(ビープ音設定)→Vt→■→Foの順に変わります。

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「bE」を選び、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「oFF」にし再生ボタンを押す

4 停止ボタンを押す

- 録音中はビープ音は鳴りません。
- 自動録音スイッチ、マイク感度スイッチ、ホールドスイッチを操作しても確認音は鳴りません。

フォーマット(メモリー初期化)のしかた

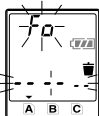
録音・再生が正常に動作しないときは、フォーマット(メモリー初期化)してください。
本機に内蔵のメモリーをフォーマットします。
本機に記録されている全てのデータが消去されます。
重要マーク付きの録音件数も消去されます。

メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→ALI→AL2→PR→CL→bE→Vt→📷→**Fo**(フォーマット)の順に変わります。

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「Fo」を選び、再生ボタンを押す

- "Fo"が点滅します。

3 消去ボタンを1秒以上押す

- "Fo"とカウンター表示のバーが点滅しフォーマットを開始します。
- フォーマットが終わると、録音番号とカウンター表示のバーが点灯に変わります。

別売のカメラユニット操作について

本機に、別売のデジタルカメラユニット(DMR-C1) を接続し撮影することができます。ただし、撮影した画像は本機で見ることはできません。別売のPCアプリケーションキット(DMR-KITR)をパソコンにインストールしてパソコン上で見ることができます。

- 画像だけを撮影できます。
- 連続撮影ができます。3秒間隔で1コマ撮影できます。
- 録音中に録音内容と同期した画像が撮影できます。
- パソコンにデータ転送してパソコン上で画像が見れます。
  本機の独自ファイル(.DMG)を一般ファイル(.BMP)に変換できます。

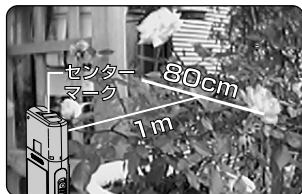
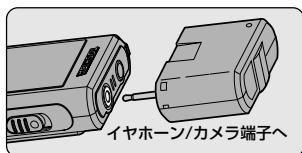
■ デジタルカメラユニット(DMR-C1)の仕様

<table>
<tr><td>外形寸法</td><td colspan="3">28(高さ) x 32 (幅)x 12.5(厚さ) （mm） （突起部除く）</td></tr>
<tr><td>質量</td><td colspan="3">約9g</td></tr>
<tr><td>撮像素子</td><td colspan="3">1/7型C-MOSイメージセンサー(有効画素数10万画素)</td></tr>
<tr><td>画像出力サイズ</td><td colspan="3">352(横)X288(縦)ピクセル</td></tr>
<tr><td>レンズ</td><td colspan="3">固定焦点</td></tr>
<tr><td>撮影距離範囲</td><td colspan="3">約30cm～∞</td></tr>
<tr><td>露出</td><td colspan="3">自動制御(室内・屋外の撮影に対応)</td></tr>
<tr><td>ホワイトバランス</td><td colspan="3">自動調整</td></tr>
<tr><td>接続プラグ</td><td colspan="3">2.5mm　4極プラグ</td></tr>
<tr><td>電源</td><td colspan="3">メモリーレコーダより供給</td></tr>
<tr><td rowspan="2">撮影可能最大枚数</td><td>DMR-3500R</td><td>DMR-1800R</td><td>DMR-900R</td></tr>
<tr><td>500</td><td>250</td><td>125</td></tr>
</table>

- 撮影可能最大枚数は、A,B,C各フォルダの1コマ撮影、インデックス撮影を合わせての枚数です。
- 撮影可能枚数は、メモリー容量により変わります。

使用上のお願い

- 落下などの強い衝撃には、十分注意してください。本機の故障・損害・破損などについては、当社では保証できません。
- 本機をメモリーレコーダ以外の機器には接続しないでください。故障する恐れがあります。
- 小さなお子様の手の届かない場所においてください。
- カメラユニットを口の中に入れないでください。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。
- カメラユニットを水中など水に入れないでください。

■ デジタルカメラユニットの接続

● 画角について
被写体からの距離が1mで、約80cmの範囲が撮影されます。

● カメラユニットを接続するときや取り外すときは、メモリーレコーダの電源を切ってから行ってください。
● カメラユニットをイヤホーン/カメラ端子に差し込みます。メモリーレコーダから電源供給します。
● センターマークを被写体に合わせ、撮影してください。
● 被写体から30cm以上離して撮影してください。
● 360度回転して撮影できます。

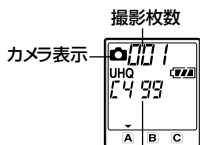
お願い

● 電源を入れた後など、カメラ表示が点灯し、しばらく待ってから撮影してください。
● 再生中やメニュー設定中など、カメラ表示が消えているときは撮影できません。停止か録音状態にしてください。
● 消耗した電池で撮影すると正常に保存できなくなることがあります。新しい電池と交換してください。
● 使用しないときは、必ずメモリーレコーダから取り外してください。取り付けたままにするとメモリーレコーダの電池が早く消耗します。
● 極端に明るい場所や極端に暗い場所では、満足な撮影結果が得られない場合があります。
● 手ぶれを起こさないように、本体をしっかりと保持してください。
● 明るい場所で、被写体が影にならない構図で撮影してください。
● 蛍光灯のもとでの撮影では画面に横しまが出ることがあります。
● レンズ部分にゴミ・ホコリが付いたときは、むやみに拭かず市販のレンズ紙などで軽く拭いてください。

別売のカメラユニット操作について(つづき)

■ 1コマ撮影

停止ボタンを押し、電源を入れ撮影ボタンを押す

カメラユニットのシャッターボタンでも撮影できます。

- 本体の撮影ボタンを押し続けると、約3秒に1コマの連続撮影ができます。カメラのシャッターボタンでは連続撮影はできません。
- 撮影ボタンを押すと、カメラ表示が点滅し、撮影枚数と残量枚数が表示され撮影が終了すると元の表示に戻ります。
- 撮影直後など、カメラ表示が点滅中に、カメラユニットを外した場合撮影した画像が正常に保存されなくなります。
- 再生中やメニュー表示中は撮影できません。
- 残量枚数の”C000”が点滅しているときは撮影できません。
- カメラユニットのシャッターボタンで撮影するときは指でレンズを隠さないように注意してください。
- カメラユニットが接続されていても、カメラ表示が点灯していないときは、撮影ボタン/シャッターは動作しません。

●残量枚数を表示させるには

再生中に再生ボタンを押している間、残量枚数と残量時間が表示されます。

- カメラユニットが接続されていないときは、残量枚数は表示されません。
- 何も録音されていないときは、表示されません。
- 表示部に撮影可能な残量枚数を表示します。再生を停止してから撮影してください。
- 再生中やメニュー表示中は撮影できません。
- 録音件数の表示が“ RE ”(REMAIN)になります。
- 残量時間表示は、おおよその目安です。

■ インデックス撮影

録音中の音声データと同期した画像を撮ることができます。

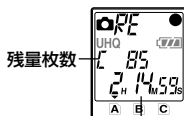
1 録音を始める

2 撮影ボタンを押す

カメラユニットのシャッターボタンでもできます。

- カメラ表示が点滅し、Indが表示されます。
- カメラ表示の点滅時間は1コマ撮影より長くなります。
- インデックス撮影中は、ビープ音は鳴りません。
- インデックス撮影できる枚数は、1つの録音件数に対して最大99枚までです。ただし、残量枚数は、メモリー容量により変わります。残量枚数の"C00"が点滅しているときは撮影できません。
- 撮影直後など、カメラ表示が点滅中に、カメラユニットを外した場合、撮影した画像が正常に保存されなくなります。
- 録音中に撮影すると操作音が録音されます。

●インデックス撮影の残量枚数を表示させるには

録音中に再生ボタンを押している間、現在の録音モードの残量枚数と残量時間が表示されます。

- カメラユニットが接続されていないときは、残量枚数は表示されません。
- 残量枚数は再生ボタンを押した時点での枚数です。録音が進むと実際の残量枚数は減っていきます。
- 録音件数の表示が"RE"(REMAIN)になります。
- 録音中のため、残量時間は減っていきます。
- 残量時間表示は、おおよその目安です。

別売のカメラユニット操作について(つづき)

■撮影画像を1つずつ消去する

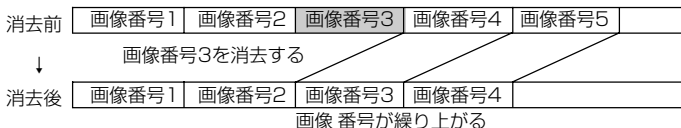
本機で画像を消去することができますが、大事な画像が撮影されている場合は、別売のPCアプリケーションキット(DMR-KITR)を使用して画像を確認してから消去してください。

インデックス撮影した画像は消去されません。

画像を消すと、次の内容が自動的に繰り上がるので、間に空白部分はできません。

消去前	画像番号1	画像番号2	画像番号3	画像番号4	画像番号5	
↓	画像番号3を消去する					
消去後	画像番号1	画像番号2	画像番号3	画像番号4		

画像 番号が繰り上がる

---

1 **停止ボタンを押し、電源を入れる**

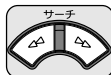
● 画像を消去するA、B、Cフォルダのどれかを選んでください。

---

2 **メニューボタンを押し、(画像消去) に合わせる**

● メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→ALI→AL2→PR→CL→bE→Vt→(画像消去)→Foの順に変わります。

---

3 **サーチボタンまたはを押し、消去したい画像番号を選ぶ**

●インデックス撮影した画像番号は表示されません。消去するときは、インデックスを解除してから消去してください。(35ページ参照)

---

4 **消去ボタンを1秒以上押す**

● “ ” が点滅し消去します。

● 画像が消去され、以降の画像番号が繰り上がります。

● 画像が1つだけのとき、画像番号が000、日付と時刻がバーになります。

■インデックス撮影した画像の解除

インデックス撮影した画像は消去できません。インデックスを解除してから消去します。インデックスを解除するときは、必ず接続しているカメラユニットを外してください。

1 停止ボタンを押し、電源を入れる

● インデックス撮影したファイルをA、B、Cフォルダのどれかから選んでください。

2 サーチボタン⊿または⊿を押し、解除したいインデックスを選ぶ

● インデックス撮影した画像の場合"C Ind "が表示されます。

3 インデックスボタンを1秒以上押す

● "C Ind "が消え画像のインデックスが解除されます。そのフォルダに画像ファイルとして保存されます。
● 解除された画像は消去することができます。

● インデックス画像のある音声ファイルを消去しても、撮影画像は消去されません。そのフォルダに画像ファイルとして保存されています。
● 音声ファイルを全消去しても、撮影画像は消去されません。そのフォルダに画像ファイルとして保存されています。
● 全画像を1度に消去することはできません。別売のPCアプリケーションキット(DMR-KITR)を使用してください。

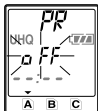
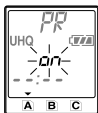
別売のカメラユニット操作について(つづき)

■インターバル撮影

インターバル撮影(指定した時間間隔で1コマずつ撮影)予約をしておくと、設定した時間に撮影を始めます。時計が設定されていないときは、インターバル予約の設定はできません。

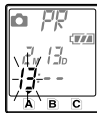
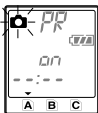
メニューボタンを押すごとに、UHQ/HQ/SP→FOL→ALI→AL2→**PR**(タイマー予約の設定)→CL→bE→Vt→📷→Foの順に変わります。
例えば、2月13日　13:00からインターバル時間1分で予約する場合

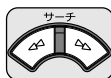
1 停止ボタンを押し、電源を入れる

2 メニューボタンで「PR」を選び、再生ボタンを押す

3 サーチボタンで「on」にし再生ボタンを押す

4 サーチボタンで「📷」を選び、再生ボタンを押す

5 サーチボタンで「予約月」を合わせ再生ボタンを押す

6 サーチボタンで「予約日」を合わせ再生ボタンを押す

7 サーチボタンで「開始時」を合わせ再生ボタンを押す

8 サーチボタンで「開始分」を合わせ再生ボタンを押す

9 サーチボタンで「インターバル時間」を合わせる

● インターバル時間は、10秒、30秒、1分、3分、10分、30分、60分に設定できます。

10 再生ボタンを押す

11 停止ボタンを2回押し電源を切る

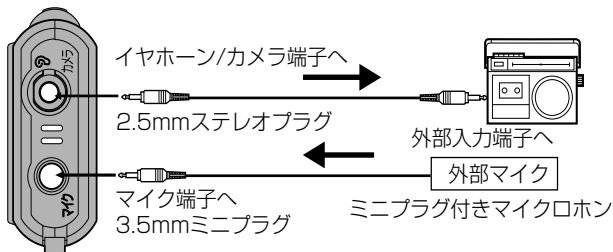
お知らせ

- 最大撮影枚数は、メモリー容量により自動的に計算されます。
- メモリー容量が無くなるとインターバル撮影設定をoFFにします。
- 録音、再生、消去、メニュー設定、パソコン接続中はインターバル撮影は動作しません。
- 設定した時刻の数秒前になると、電源が入り、設定時刻に撮影が開始されます。
- 撮影可能最大枚数を超えると、インターバル撮影設定をoFFにします。
- 途中でインターバル撮影を止めるにはインターバル撮影設定をoFFにしてください。36ページの操作手順3でoFFに設定します。
- バッテリー容量が無くなるとインターバル撮影設定をoFFにします。
- 一度動作すると、自動的にoFF設定になります。

録音した内容を保存したいとき

お手持ちの機器に合った別売りの音声用コードを使用することで、本機の録音内容を、お手持ちのテープレコーダなどに録音することができます。

準備

- 接続するときは必ず本機と接続機器の電源を切ってから行ってください。
- **接続機器の取扱いは接続機器の取扱説明書をご覧ください。**

イヤホーン/カメラ端子から録音するときは、市販のステレオミニプラグコードを使用し、イヤホーン端子側に**2.5mmプラグアダプター**を使用してください。

- **外部マイクについて**

外部マイクを接続すると、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクを使うと、マイクの電源は本機から供給されます。

プラグインパワー対応のマイクを使用するときは下記の仕様のマイクをご使用ください。

マイク入力：3.5mmミニジャック/モノラル

インピーダンス：3kΩ以下

一部の機器専用マイクには使用できないものがあります。

お知らせ

- 他の機器と接続する時は、スピーカーを破損することのないように、本機のボリュームを最小にしてください。
- 本機の電池を出し入れするときは、必ず接続機器の電源を切ってから行ってください。

パソコンに音声を取り込むには

別売のPCアプリケーションキット(DMR-KITR)**を使うことにより、以下のことができます。**

- 本機で録音した音声ファイルをパソコンのハードディスクに保存できます。
- パソコンにデータ転送してパソコン上で録音内容が聞けます。
  本機の独自ファイル(.dmr)を一般ファイル(.wav)に変換します。
- データ転送した後、パソコン上でインデックスの追加や削除、重要マークの設定や解除、コメントの追加、録音した音声データの分割や結合ができます。また、パソコン上で編集した音声ファイルを本機に戻して聞くことができます。
- 別売のデジタルカメラユニットで撮影した画像を見ることができます。
- カメラユニットで撮影した画像ファイルをBMP形式のファイルに変換できます。

● 推奨するシステム構成

以下の性能を満たしたIBM PC/AT及びその互換機(NEC PC98シリーズとその互換機、Macintoshでは動作しません)

CPU：Pentium®300MHz以上推奨

RAM容量：128Mバイト以上推奨

HDDの空き容量：10MB以上(音声・画像データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です)

ドライブ：ＣＤ－ＲＯＭドライブ

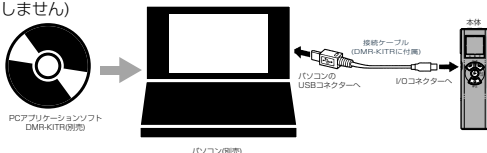
接続ポート：USB（すべてのパソコン機種での動作を保証するものではありません）

ディスプレー：800X600ドット以上の解像度、ハイカラー以上に設定

音源：16bit以上のサウンドカード

ＯＳ：

Windows®98/98SE/Me/2000 Professional/XPHome Edition/XP Professional

(Windows 3.1/95およびWindows®NT MacOSには対応しておりません。また、自作PCなどへWindows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professionalをインストールされたものや、他のOSからWindows® 98/98SE/Me/2000 Professional/XP Home Edition/XP Professionalへアップグレードした環境での動作は保証しません)

- IBM及びPC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- Macintoshは米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の商標です。
- Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。
- Microsoft及びWindowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

故障かな…と思ったときは

故障かな？…とお思いのときはアフターサービスをご依頼になる前に、次の点をお調べください。

	症状	原因	処置	参照ページ
電源	液晶が点灯しない。	●電池が入っていない。	●電池を入れる。	8
		●電池が消耗している。	●電池を取り換える。	8
録音	FULL表示が出たとき。	●録音件数が199になっている。	●録音内容を消す。	20
		●メモリーがいっぱい。	●録音内容を消す。	20
	FIL 表示が出たとき。	●データがいっぱい。	●全内容を消去する。	13
	録音できない。	●電池が入っていない。	●電池を入れる。	8
		●電池が消耗している。	●電池を取り換える。	8
		●録音時間に余裕がない。	●録音内容を消す。	20
	録音モニターができない。	●音量調整が0になっている。	●音量を調節する。	13
再生	再生ボタンを押しても再生しない。	●ホールドスイッチが入っている。	●ホールドスイッチを戻す。	22
		●録音内容がない。	●録音件数表示を確認する。	12
	スピーカーから再生音が出ない。	●音量調整が0になっている。	●音量を調節する。	14
		●イヤホーンを接続している。	●イヤホーンをはずす。	14
	イヤホーンから再生音が出ない。	●音量調整が0になっている。	●音量を調節する。	14
		●イヤホーンを接続していない。	●イヤホーンを接続する。	15
	音が割れる。	●音量調整が大きすぎる。	●音量を調節する。	14
	録音した日付・時刻が1M01D・0H00Mで表示される。	●時刻合わせがされていない。	●時刻を合わせる。	10

症状		原因	処置	参照ページ
その他	アラーム設定ができない。	● 時刻合わせがされていない。	● 時刻を合わせる。	10
	停止ボタンを押しても電源が切れない。	● ホールドスイッチが入っている。	● ホールドスイッチを戻す。	22
	サーチボタンを押すと、録音件数の途中で止まる。	● インデックスが付いている。	● インデックスの所で停止する仕様です。	23
	再生中、メニュー/↩ボタンを押すと、録音件数の途中で繰り返し再生する。	● インデックスが付いている。	● リピート再生を解除する。	15
撮影(別売のカメラユニット使用時)	カメラマークが点灯しない。	● カメラが抜けている。	● しっかり差し込む	31
		● 再生かメニューモードになっている。	● 停止か録音モードにする。	32
	撮影できない。	● メモリーがいっぱい。C000が点滅している。	● 録音内容を消す。	20
		● 残量枚数のC000が点滅している。	● 撮影画像を消す。	34
		● 電池が消耗している。	● 電池を取り換える。	8
	撮影画像を消せない。	● インデックス撮影している。	● インデックスを解除する。	35
	画像モニターができない。	● 本体では、撮影画像は見ることができません。	● 別売のPCアプリケーションキット(DMR-KITR)をご使用ください。	39

主な仕様

形　名		DMR-3500R	DMR-1800R	DMR-900R
外形寸法		117(高さ) x 32 (幅)x 12.5(厚さ)（mm）（突起部除く）		
質量		約34g（本体のみ）［約56g（電池含む）］		
電源		単四形電池（LR03）2本		
電池寿命	録音時	UHQ:約20時間、HQ:約25時間、SP:約30時間		
	再生時	UHQ:約20時間、HQ:約24時間、SP:約24時間 (音量調整 10の位置で、内蔵スピーカー使用時)		
		常温（25℃）で東芝アルカリ乾電池（LR03）使用時 (メーカーや在庫期間などで電池寿命が短いことがあります。特に低温時は、乾電池の性能が低下し、電池寿命が短くなります）		
録音方式		デジタル録音		
録音・再生帯域		UHQ:150~7000Hz,HQ:150~3000Hz,SP:150~3000Hz(口述モード時)		
記録媒体		内蔵フラッシュメモリー		
最長録音時間				
UHQモード		約4時間20分	約2時間10分	約1時間05分
HQモード		約8時間50分	約4時間20分	約2時間10分
SPモード		約35時間20分	約17時間40分	約8時間50分
最大録音件数		A・B・C　各フォルダ　199件		
マイクロホン		内蔵エレクトレットコンデンサーマイクロホン(モノラル)		
マイク入力		マイク(3.5mmジャック/モノラル)、適合インピーダンス3kΩ以下 基準動作入力レベル(最小入力レベル)： 5mV		
イヤホーン出力		イヤホーン(2.5mmジャック)、適合インピーダンス8Ω以上 実用最大出力：30mW+ 30mW (1kHz,10%歪,32Ω負荷)		
スピーカー出力		直径 23mmセラミックスピーカー (公称容量:約1.6μF,1kHz時インピーダンス:約100Ω) 、実用最大出力：15mW(1kHz,10%歪)		
時刻表示		24時間デジタル表示		
使用条件		温度：0℃～40℃		
付属品		両耳用イヤホーン(2.5mmステレオプラグ)、東芝アルカリ乾電池単四形（LR03）2本、取扱説明書		

● 意匠、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

● 本製品は、ご愛用終了時に再資源化の一助として主なプラスチック部品に材料名表示をしています。

■ 付属の電池について

- 付属の電池はモニター用です。寿命が短いこともありますがご了承ください。

■ イヤホーンについて

- 付属のイヤホーンはダイナミックタイプです。
- 付属のイヤホーンは、ステレオタイプですが、再生音、録音モニター音は、モノラル(左右同一音声)です。

お知らせ

商品のアフターサービスはお買い上げの販売店がいたします。

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合
『東芝家電修理ご相談センター』 フリーダイヤル 0120-1048-41(365日・24時間受付)

※フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

DMR-3500R/1800R/900Rに関するお問い合わせ

『ボイスバーサポートセンター』

フリーフォン：無料 0037-80-1048

(通話料、サポート料金は無料です)

※フリーフォンは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

携帯電話からのご利用は (一般回線、CATV回線からも使用できます)

ナビ ダイヤル：® 0570-05-5520 (通話料　有料)

(サポート料金は無料です)

※ナビダイヤルは、PHS、FOMAなど一部の電話ではご利用になれません。

F　A　X　　：03-3258-0470

受付時間：（月～土）午前10時～午後8時

（年末、年始、祝日を除く）

インターネットで情報を....

ホームページから最新の商品情報やサービス・サポート情報等の発信をしています。ぜひ、私たちのホームページへアクセスしてください。

■ http://www.toshiba.co.jp/webcata/it/_dmr.htm

上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご参照願います。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容など）の補償の責については、ご容赦ください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ） 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ） お買いあげ後の落下、輸送等による故障および損傷。
   （ハ） 火災、天災地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ） 本書のご提示がない場合。
   （ホ） 本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
   （ヘ） 一般家庭用以外（たとえば業務用）にご使用の場合の故障および損傷。
   （ト） ご使用による容器の汚れ及び損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
   修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid in Japan.
4. ご転居の場合は事前にお買いあげの販売店にご相談ください。
5. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買いあげの販売店に修理がご依頼できない場合には、保証書に記載されている連絡先へご相談ください。

修理メモ	修理年月日	修 理 内 容	担 当
	年 月 日		
	年 月 日		

※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買いあげの販売店へご相談ください。

東芝メモリーレコーダ保証書

<table>
<tr><td colspan="3">形　名　DMR-3500R/DMR-1800R/DMR-900R</td></tr>
<tr><td rowspan="3">★お客様</td><td>お名前</td><td colspan="2">ふりがな
様</td></tr>
<tr><td>ご住所</td><td colspan="2">〒□□□-□□□□</td></tr>
<tr><td>電話</td><td colspan="2">市外　市内　番号　呼</td></tr>
<tr><td>保証期間</td><td>本体</td><td>1年</td><td>★お買い上げ日
年　月　日から</td></tr>
<tr><td>★ご販売店</td><td colspan="3">住所・店名

電話</td></tr>
</table>

株式会社 **東芝**

映像ネットワーク事業部

〒 101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8

電話（03）3257-6098

本書は、取扱説明書の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料修理をさせていただくことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した時には、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使うことがあります。

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんから、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

（裏面をご覧ください）

株式会社 **東芝**

映像ネットワーク事業部

〒 101-0021　東京都千代田区外神田1-1-8

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

70159045